

国語

(言語文化)

発 番 号	行 名	者 称 略 称	教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
2	東京書籍	東書	言文 002-901	A 5	310	令和 7 年
2	東京書籍	東書	言文 002-902	A 5	358	令和 7 年
15	三省堂	三省堂	言文 015-901	A 5	362	令和 7 年
15	三省堂	三省堂	言文 015-902	A 5	305	令和 7 年
50	大修館書店	大修館	言文 050-901	A 5	386	令和 7 年
50	大修館書店	大修館	言文 050-902	B 5	334	令和 7 年
104	数研出版	数研	言文 104-901 ◆	A 5	358	令和 7 年
104	数研出版	数研	言文 104-902 ◆	A 5	350	令和 7 年
104	数研出版	数研	言文 104-903 ◆	A 5	350	令和 7 年
109	文英堂	文英堂	言文 710	A 5	309	令和 3 年
117	明治書院	明治	言文 117-901 ◆	A 5	370	令和 7 年
143	筑摩書房	筑摩	言文 143-901	A 5	288	令和 7 年
143	筑摩書房	筑摩	言文 143-902	A 5	320	令和 7 年
183	第一学習社	第一	言文 183-901	A 5	382	令和 7 年
183	第一学習社	第一	言文 183-902	A 5	342	令和 7 年
183	第一学習社	第一	言文 713	A 5	256	令和 3 年
183	第一学習社	第一	言文 715	A 5	304	令和 3 年
183	第一学習社	第一	言文 716 ◆	B 5	258	令和 3 年
212	桐原書店	桐原	言文 212-901 ◆	A 5	358	令和 7 年

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

言語文化		冊数	19冊
発行者の略称・教科書の番号	東書002-901 東書002-902 三省堂015-901 三省堂015-902 大修館050-901 大修館050-902 数研104-901 数研104-902 数研104-903 文英堂710 明治117-901 筑摩143-901 筑摩143-902 第一183-901 第一183-902 第一713 第一715 第一716 桐原212-901		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【国語の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【言語文化の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【言語文化の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (2) 我が国の言語文化に関する事項 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 題材の設定、情報の収集、内容の検討 (2) 構成の検討、考えの形成、記述、推敲、共有 B 読むこと (1) 構造と内容の把握 (2) 精査・解釈 (3) 考えの形成、共有	(1) 〔思考力、判断力、表現力等〕について ア「A書くこと」 5～10単位時間程度を配当すること。 - 中学校国語科の書写との関連を図り、効果的に文字を書く機会を設けること。 イ「B読むこと」 - 古典に関する指導は40～45単位時間程度を配当すること。 - 古典における古文と漢文の割合は、一方に偏らないようにすること。その際、古典について解説した近代以降の文章などを活用するなどして、我が国の言語文化への理解を深めるよう指導を工夫すること。 - 近代以降の文章に関する指導については、20単位時間程度を配当すること。その際、我が国の伝統と文化に関する近代以降の論理的な文章や古典に関連する近代以降の文学的な文章を活用するなどして、我が国の言語文化への理解を深めるよう指導を工夫すること。 - 教材は、古典及び近代以降の文章とし、日本漢文、近代以降の文語文や漢詩文などを含めるとともに、我が国の言語文化への理解を深める学習に資するよう、我が国の伝統と
「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
	文化や古典に関連する近代以降の文章を取り上げること。また、必要に応じて、伝承や伝統芸能などに関する音声や画像の資料を用いることができること。 (2) 各領域の言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第2章第1節第3款1(1)
b 読書に関する指導	学習指導要領第2章第1節第2款第2、2(2)カ
その他の項目（各教科共通）	学習指導要領総則、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る。
- b 読書に関する指導
 - ・ 読書に関する指導についてどのように扱っているかを見取る。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 学習指導要領の第3款の中で「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて」と言及されているので、言語文化では、各単元(各文章)における「知識及び技能」「書くこと」「読むこと」の指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。
- b 読書に関する指導
 - ・ 学習指導要領では、「我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること」を身に付けることができるよう指導することとされている。このことから、読書に関する指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取り扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		東書
教科書番号		言文002-901
教科書名		新編言語文化
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
	【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・「『花』と言えば『桜』？」といった言語活動が設けられており、我が国の言語文化に特徴的な語句に関する文化的背景について理解をし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・「文体の変遷」では「古典の文体」と「近代の文体」について学ぶことで、歴史的な文体の変化を理解するとともに、言葉には文化の継承や発展を支える働きがあることを学ぶことができる。
	【書くこと】	・「短歌を作る」、「訳詩を書く」という活動を通して、自分の体験や思いが効果的に伝えるために表現の仕方を工夫するとともに、中学校国語の書写との関連が図る工夫されている。
	【読むこと】	・現代文編では「羅生門」と「今昔物語集」、漢文編では、漢詩と日本文学との比較を通して、複数の作品を読むことで得られる新たな発見や問いを立てるなど、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 ・和歌を自分の言葉で書き換え、批評し合う活動が設定され、読み手の多様な解釈を顕在化させるとともに、解釈の違いについて話し合うことで、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を深く解釈することができる。
b 読書に関する事項		
		・「ブックガイド」や「読書案内」を設け、各単元で再録している作品、ジャンルや作者への理解を深めるとともに、読書の幅を広げることにもつなげられるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）		
	我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・作品の歴史的・文化的背景などを理解することができる「現代文の窓」、「古文の窓」、「漢文の窓」を設けることで、単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりすることができる。 ・古典を読むために必要な文語のきまりなどについて理解することができるよう「古文学習のしるべ」では古典の世界に親しむためにが設定されている。
	人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むと作品の朗読や解説などを視聴できる工夫が多くされている。
	ユニバーサルデザインの視点	全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインが工夫されている。

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		東書
教科書番号		言文002-902
教科書名		精選言語文化
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
	【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・各教材末の学習の手引には「漢字と語彙」や重要語句・重要句法が取り上げられ、我が国の言語文化に特徴的な語句に関する文化的背景について理解を、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・「和歌の解釈」や「和歌の修辞」において本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解することができる。
	【書くこと】	・「短歌を作る」、「訳詩を書く」という活動を通して、自分の体験や思いが効果的に伝えるために表現の仕方を工夫するとともに、中学校国語の書写との関連が図る工夫されている。
	【読むこと】	・翻案作品と原作との読み比べや改稿による違いの読み比べなど、作品の比較を通して、複数の作品を読むことで得られる新たな発見や問いを立てるなど、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 ・「昔の犬は何と鳴く」や「『論語』の注釈を読む」が配され、言葉の変遷や作品の受容の歴史を知ることを通して、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを学ぶことができるよう工夫されている。
b 読書に関する事項		
		・「読書案内」を設け、各単元で再録している作品、ジャンルや作者への理解を深めるとともに、読書の幅を広げることにもつなげられるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）		
	我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・作品の歴史的・文化的背景などを理解することができる「現代文の窓」、「古文の窓」、「漢文の窓」を設けることで、単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりすることができる。 ・古典を読むために必要な文語のきまりなどについて理解することができるよう「古文学習のしるべ」では古典の世界に親しむために設定されている。
	人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むと作品の朗読や解説などを視聴できる工夫が多くされている。
	ユニバーサルデザインの視点	全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインが工夫されている。

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		三省堂
教科書番号		言文015-901
教科書名		精選 言語文化 改訂版
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
	【言葉の特徴や使い方に関する事項】	- 古文編、漢文編では中学校国語科における学習の成果を踏まえて、高校生として望ましい国語の力を身に付け、日常生活における言語活動を活発化できる教材を選定している。 - 古文編、漢文編の各教材に言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きや、我が国の言語文化に特徴的な表現について興味・関心をもてるよう「文法と語彙」や「語彙と漢字」を設けている。 「文法から解釈へ」というコラムと文法を関連付けて学ぶことで、古典を読むために必要な文語のきまりを学ぶだけでなく、古典の世界に親しむことにつながる工夫がされている。
	【書くこと】	紀行文を書く、短歌・俳句を作ること、自分の知識や体験の中から適切な題材を決定し、表現したいことを明確にするとともに、効果的に文章を書く機会を設けている。
	【読むこと】	- 作品の種類で分けた単元とすることで、各時代・ジャンルについての知識を整理しつつ、深く学ぶことができる配慮がされている。 「文学を読むために」では「語り手」や「比喩・反復」など、表現の仕方や表現の特色について理解を深め、小説の組み立てや言葉が生み出すイメージについて考える機会としている。 - 単元ごとに「学びを広げる」コラムがあり、章段の読み比べや現代語訳などを利用することで生徒の理解を助け、言語文化への興味関心が深まる工夫がされている。
b 読書に関する事項		
		「ブックガイド」で単元と関連する本を多数紹介することで、単元の振り返りを行うとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養う。
《その他の項目》（各教科共通）		
	我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	「言語文化の扉」では「平安時代の成人と結婚」や「受け継がれる『平家物語』」など古典作品が近現代に与えた影響について、興味と関心をもつことができるよう設定されている。 「今に生きる『論語』」など我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる教材が収録されている。 - 巻末に文法や生活に関する理解を深める知識や図版が掲載されている。
	人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むと「知識・技能デジタルドリル」や「単元の振り返り」ができるよう工夫がされている。
	ユニバーサルデザインの視点	カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		三省堂
教科書番号		言文015-902
教科書名		新 言語文化 改訂版
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・古文編、漢文編では中学校国語科における学習の成果を踏まえて、高校生として望ましい国語の力を身に付け、日常生活における言語活動を活発化できる教材を選定している。 ・学習活動の補助となる問いを「学習活動のために」で設定し、文章の意味は文脈の中で形成されることや言葉に寄り添って根拠を考える活動が設定されている。 ・「資料編」には、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やすなど、言語活動の充実に資するよう「言語活動を行うための基礎用語集」が掲載されている。 ・単元ごとに「学びを広げる」コラムがあり、辞書の活用や故事成語など言語文化への興味関心が深まる工夫がされている。	
【書くこと】	・短歌や詩の創作を通して、自分の思いや考えが、効果的に伝わるように表現の仕方を工夫する機会が設けられている。	
【読むこと】	・古典では、我が国の言語文化を中心に学ぶ単元と作品の構成や人物の心情を考える単元で構成することで、文章の種類を踏まえて、内容や展開などについて叙述を基に的確に捉える力の育成を目指している。 ・「古文を読むために」「漢文を読むために」を適宜配置し、言葉を文脈の中で適切に理解し、活用できるようにしている。	
b 読書に関する事項		
	・「ブックガイド」で単元に関連する本を多数紹介することで、単元の振り返りを行うとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養う。 ・「広がる読書」を適宜配して、様々な文章に触れる機会が設定されている。	
《その他の項目》（各教科共通）		
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「『絵仏師良秀』と『地獄変』」、「『伊勢物語』と『源氏物語』」など古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを比較して理解することができる。 ・「漱石、漢詩を作る」など我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができるコラムが収録されている。 ・巻末に文法や生活に関する理解を深める知識や図版が掲載されている。	
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし	
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし	
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし	
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし	
(2) 構成上の工夫		
デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むと「知識・技能デジタルドリル」や「単元の振り返り」ができるよう工夫がされている。	
ユニバーサルデザインの視点	カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。	

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		大修館
教科書番号		言文050-901
教科書名		言語文化 改訂版
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
	【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・「文化と言葉」や「漢文から生まれた言葉」などのコラムや「日本名文選」を通して、歴史的な文体の変化を理解するとともに、言葉には文化の継承や発展を支える働きがあることを学ぶことができる。 ・現代文編では文章の見開きごとに語句・漢字の学習に役立つ「語句・漢字」を配置するとともに、同音異義語や対義語などの情報も充実させ、漢字・語彙の理解を進める工夫が見られる。
	【書くこと】	・短歌や俳句の理解を通して、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする活動が設定されている。
	【読むこと】	・過去の記録から当時の人々が社会のできごとをどのように捉えていたかを比較する活動等、他の作品との関係を踏まえ、学習内容を深められるよう工夫がされている。 ・作品と併せて学習する「展開」を設け、関連する他作品や、関連するテーマを読むことで、作品の内容や解釈を深めるとともに、自分のものの見方、感じ方、考え方を深められるよう工夫がされている。
b 読書に関する事項		
		・「著作案内」や「読書案内」を設け、各単元で再録している作者の関連作品や関係するテーマに関する作品を掲載し、読書の幅を広げることにつなげられるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）		
	我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・作品の世界を多角的に紹介する「言語文化の窓」を設けることで、古典世界の恋愛と結婚や月と暦の関係など、古典の世界に親しむための作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができるよう工夫されている。 ・古文編・漢文編には「解釈の視点」として、古典の文章を読むために必要な基礎知識や古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりなど古典特有の表現などについて理解することができる。
	人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むと語句や漢字のミニテストや作品の動画解説を視聴できる工夫が多くされている。
	ユニバーサルデザインの視点	記載なし

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		大修館
教科書番号		言文050-902
教科書名		新編 言語文化 改訂版
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
	【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・「ことばと文化」、「日本語から見える文化」や「ことばの多様性・可能性」などのコラムを通して、言葉には文化の継承や発展を支える働きがあることを学ぶことができる。 ・本文下欄の見開きごとに「語句・漢字」を記載することで、注意したい慣用表現や覚えておきたい常用漢字の学習に役立つ工夫がされている。
	【書くこと】	・四季に関する歌の鑑賞や「枕草子」の「ものづくし」を踏まえたエッセイを書く活動を通して、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする活動が設定されている。
	【読むこと】	・「展開」には「羅生門」と「今昔物語集」との比較などが設定され、他の作品との関係を踏まえ、学習内容を深められるよう工夫がされている。 ・作品末には「学習のポイント」として「ひろげる」が設けられ、作品の内容や解釈を踏まえながら、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自分の考えをもつことにつなげる活動が設定されている。
b 読書に関する事項		
		・「ブックガイド」や「読んでみよう」を設け、各単元で再録している作者の関連作品や関係するテーマに関する作品を掲載し、読書の幅を広げることにつなげられるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）		
	我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・古典編では「言語文化の窓」で「現代に息づく古典」や「随筆文学の広がり」など、古典の世界に親しむための作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができるよう工夫されている。 ・古文編・漢文編には「ことのは」として、古典の文章を読むために必要な基礎知識や必要な文語のきまり、訓読のきまりなど古典特有の表現などについて理解することができる。
	人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むと語句や漢字のミニテストや作品の動画解説を視聴できる工夫が多くされている。
	ユニバーサルデザインの視点	記載なし

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		数研
教科書番号		言文104-901◆
教科書名		改訂版 言語文化
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
	【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・各編の冒頭に「言語文化と古文」「言語文化と漢文」「言語文化と近現代文」が収録され、文化の継承や発展について理解を深める内容が設定されている。 ・「古文のチェックポイント」や「漢文チェックポイント」が設けられ、古典文法や漢文の句法について理解を深められるよう工夫されている。
	【書くこと】	・古文をリライトする活動等を通して、古典を身近に感じつつ、文化の継承の担い手となる意識を育てる言語活動が取り入れられている。
	【読むこと】	・古文では説話、随筆、歌物語、歴史物語、日記などが、漢文では故事、史伝。漢詩、思想などが取り上げられ、文章の種類を踏まえて、構成や展開、内容を的確に捉えたり、解釈したりできるように教材が設定されている。 ・「伊勢物語」と「大和物語」の比較、「枕草子」と白居易の漢詩の比較等、他の作品との比較を踏まえ、内容の解釈を深める活動が設定されている。 ・「小説」では作品の後日譚を創造する活動を取り入れることで、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ活動につなげている。
b 読書に関する事項		
		作品の解説とともに関連書籍を示すことで、生徒の読書指導につなげる工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）		
	我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「古典の享受史」や「女房と宮廷生活」など古典を読むために必要な知識を理解するためのコラムが複数設けられている。 ・「漢文由来の名付け」や故事成語の由来を調べる学習を通して、我が国の言語文化の特質を理解するために、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて考える活動が設けられている。 ・「古語と現代語」などのコラムにおいて、言葉の歴史的な変遷を知ることを通して、時間の経過などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。
	人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むとテストアプリで小テストを行うことや関連資料を見ることができる工夫が多くされている。
	ユニバーサルデザインの視点	カラーユニバーサルデザインに配慮している。

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		数研
教科書番号		言文104-902◆
教科書名		改訂版 高等学校 言語文化
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
	【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・各編の冒頭に「言語文化と古文」「言語文化と漢文」「言語文化と近現代文」が収録され、文化の継承や発展について理解を深める内容が設定されている。 ・「古文のチェックポイント」や「漢文チェックポイント」が設けられ、和歌の修辞や句法について理解を深められるよう工夫されている。
	【書くこと】	・古文をリライトする活動等を通して、古典を身近に感じつつ、文化の継承の担い手となる意識を育てる言語活動が取り入れられている。
	【読むこと】	・「古文の世界を楽しむ」や「現代にも生きる教え」などテーマで作品を収録することで、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を深く理解することができるよう工夫されている。 ・「徒然草」と「新古今和歌集」における和歌のやり取りの比較、「枕草子」と白居易の漢詩の比較等、他の作品との比較を踏まえ、内容の解釈を深める活動が設定されている。 ・「小説」では作品の後日譚を創造する活動を取り入れることで、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ活動につなげている。 ・「古語と現代語」などのコラムにおいて、言葉の歴史的な変遷を知ることを通して、時間の経過などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。
b 読書に関する事項		
		作品の解説とともに関連書籍を示すことで、生徒の読書指導につなげる工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）		
	我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「世の中を見つめる目」や「女房と宮廷生活」など古典を読むために必要な知識を理解するためのコラムが複数設けられている。 ・「漢文由来の名付け」や故事成語の由来を調べる学習を通して、我が国の言語文化の特質を理解するために、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて考える活動が設けられている。 ・「古語と現代語」などのコラムにおいて、言葉の歴史的な変遷を知ることを通して、時間の経過などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。
	人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むとテストアプリで小テストを行うことや関連資料を見ることができる工夫が多くされている。
	ユニバーサルデザインの視点	カラーユニバーサルデザインに配慮している。

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		数研
教科書番号		言文104-903◆
教科書名		改訂版 新編 言語文化
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
【言葉の特徴や使い方に関する事項】		・各編の冒頭に「言語文化と近現代文」「言語文化と古文」「言語文化と漢文」が収録され、文化の継承や発展について理解を深める内容が設定されている。 ・「古文のチェックポイント」や「漢文チェックポイント」が設けられ、和歌の修辞や句法について理解を深められるよう工夫されている。
【書くこと】		・俳句の創作等を通して、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする活動が設定されている。
【読むこと】		・「地域の『ことば』」や「古文の世界を楽しむ」などテーマで作品を収録することで、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を深く理解することができるよう工夫されている。 ・「学習」や「言語活動」では言葉に注目する課題を設定することで、作品や文章に表れているものの見方、感じ方や考え方を捉え、内容を深く解釈する工夫がされている。
b 読書に関する事項		
		作品の解説とともに関連書籍を示すことで、生徒の読書指導につなげる工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）		
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫		・小説では作品の直後に作家の略歴を掲載することで、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることが工夫が見られる。 ・古文では作品解説とともに「世の中を見つめる目」などの作品の世界を深く理解するためのコラムが掲載され、生徒が古典の世界に親しむための工夫がされている。 ・「漢文由来の名付け」や故事成語の由来を調べる学習を通して、我が国の言語文化の特質を理解するために、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて考える活動が設けられている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫		記載なし
安全・防災や自然災害の扱い		記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫		記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等		記載なし
(2) 構成上の工夫		
デジタルコンテンツの扱い		二次元コードを読み込むとテストアプリで小テストを行うことや関連資料を見ることができる工夫が多くされている。
ユニバーサルデザインの視点		カラーユニバーサルデザインに配慮している。

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）	文英堂
教科書番号	言文710
教科書名	言語文化
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・和歌の修辞や故事成語などを学習する活動が設けられ、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やすとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
【書くこと】	・折句の歌を作る活動や「ものづくり」の随筆を書くという活動を通して、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる力を育成する。
【読むこと】	・指導事項を充実させ、文章を読み深めるため、多くの教材で音読の活動を取り入れた。
b 読書に関する事項	
	「読書のすすめ」を設け、古文・漢文・現代文に関する言語文化の意義と効用について理解を深めるとともに、読書の幅を広げることにもつなげられるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「古文の世界」や「物語とはなにか」などのコラムが設けられ、古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	「読書のすすめ」を設け、古文・漢文・現代文に関する言語文化の意義と効用について理解を深めるとともに、読書の幅を広げることにもつなげられるよう工夫がされている。
安全・防災や自然災害の扱い	東日本大震災などの災害で多くの命が失われること
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	記載なし

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）	明治
教科書番号	言文117-901◆
教科書名	新 精選 言語文化
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・「声に出して古文を読む」や「月が詠まれた和歌を鑑賞する」など単元の言語活動を設けることで、教材同士の有機的なつながりを意識させ、主体的に課題に取り組めるよう工夫されている。 ・真名と仮名の違いを学ぶことや熟語の意味を搜索するゲームを通して、言葉の語感を磨くとともに、言葉には文化の継承を支える働きがあることを理解できる。] ・幅広い知識と教養を身に付け、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うために、「明治期の文語文と口語文」のコラムが設けられている。
【書くこと】	・歴史を再発見し、随筆を書く活動等を通して、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする力を養えるよう工夫されている。
【読むこと】	・教材の後ろには「深い学びのために」として「学習のポイント」と「言葉と表現」という設問が置かれ、まとめとなる実践的な活動が設定されている。 ・「羅生門」と「今昔物語集」を読み比べるなど、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める活動が設けられている。
b 読書に関する事項	
	巻末に「読書のすすめ」が設定され、教材に関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・古典を読むために必要な文語のきまりや特有の表現などについて理解する「古文を読むために」が設定されている。 ・漢文教材の後ろに「古典に関する文章」が置かれ、古典教材をより深く理解できるよう工夫が見られる。 ・古文編・漢文編・近現代文編・詩歌編の分野別に単元が構成され、古典の言葉と現代の言葉等をまとまりごとに学習しやすい構成になっている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	「男の文章と女の文章」で男女の性差による表現方法の違いに関する記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むと教材を理解するうえで参考となる音声が用意されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		筑摩
教科書番号		言文143-901
教科書名		ちくま 言語文化
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
	【言葉の特徴や使い方に関する事項】	- 古文・漢文教材の末尾には重要な古語や句法のとまとめ、現代文の末尾には重要漢字を記すことで、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やすことができるよう工夫されている。 「日本語の変遷」では、近代の日本がどのように「書き言葉」を「話し言葉」に近付ける「言文一致」を成し遂げたのかを学ぶことで、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。
	【書くこと】	翻案を通じて自分の思いを伝える、詩歌を通して表現力を磨くという活動を通して、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる力を育成する。
	【読むこと】	- 単元の末尾に「『構成』を意識して作品への理解を深めよう」などの「実践」を配し、主体的で対話的な学びを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ活動ができるよう工夫されている。 - 古文では物語、日記、随想といったジャンルごとに作品を読むことができるよう工夫されており、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について考える活動がしやすくなっている。
b 読書に関する事項		
		「読書案内」を設け、古文・漢文・現代文に関する言語文化の意義と効用について理解を深めるとともに、読書の幅を広げることにもつなげられるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）		
	我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	「和漢混交文体と漢字仮名交じり文」のコラムなど、歴史的な文体の変化について理解を深めることができる。 「古典文法の窓」、「主な助字・返読文字・再読文字」、「漢詩のきまり」など古典文法や漢文訓読のまとめが適切にできるように工夫されている。
	人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	学習に役立つデジタル・コンテンツを適宜用意している。
	ユニバーサルデザインの視点	読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを採用している。

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		筑摩
教科書番号		言文143-902
教科書名		言語文化 改訂版
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
	【言葉の特徴や使い方に関する事項】	- 古文・漢文教材の末尾には重要な古語や句法のまとめ、現代文の末尾には重要漢字を記すことで、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やすことができるよう工夫されている。 「日本語の変遷」では、近代の日本がどのように「書き言葉」を「話し言葉」に近づける「言文一致」を成し遂げたのかを学ぶことで、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。
	【書くこと】	翻案を通じ自分の思いを伝える、詩歌を通して表現力を磨くという活動を通して、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる力を育成する。
	【読むこと】	- 単元の末尾に「『構成』を意識して作品への理解を深めよう」などの「実践」を配し、主体的で対話的な学びを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ活動ができるよう工夫されている。 - 古文では物語、日記、随想といったジャンルごとに作品を読むことができるよう工夫されており、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について考える活動がしやすくなっている。
b 読書に関する事項		
		「読書案内」を設け、古文や現代文に関する言語文化の意義と効用について理解を深めるとともに、読書の幅を広げることにつなげられるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）		
	我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	「和漢混交文体と漢字仮名交じり文」のコラムなど、歴史的な文体の変化について理解を深めることができる。 「古典文法の窓」、「主な助字・返読文字・再読文字」、「漢詩のきまり」など古典文法や漢文訓読のまとめが適切にできるように工夫されている。
	人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	学習に役立つデジタル・コンテンツを適宜用意している。
	ユニバーサルデザインの視点	読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを採用している。

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		第一
教科書番号		言文183-901
教科書名		高等学校 改訂版 精選 言語文化
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
	【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・古文編、漢文編では中学校国語科における学習の成果を踏まえて、高校生として望ましい国語の力を身に付け、日常生活における言語活動を活発化できる教材を選定している。 「言葉の手引き」や和歌の修辞に関する「古文を読むために」を設定したり、「重要古語」や「基本句形」を抽出したりして、「B 読むこと」の内容と関連付けながら、我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解することができる。
	【書くこと】	・折句を用いて短歌を作る、古典作品のリライトする活動を通して、言語活動を主体とした表現力や想像力を高め、自分の考えを広げて伝え合う力を育成する。
	【読むこと】	・「作者解説」や「文学のしるべ」を適宜設定し、生徒の興味・関心に応じて知識や教養を広げるとともに、作品や文章の成立した背景や関連する作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 ・「徒然草」と「玉勝間」の比較や「伊勢物語」と「伊勢物語絵巻」との比較により、複数の文章や情報を読んで得ることのできた視点と、自分の知識や経験を基に、新たに発想や異なる価値観に気付く活動が用意されている。
b 読書に関する事項		
		小説には「文学のしるべ」を設け、作家の歴史的な位置付けや小説の役割について思考を深めるとともに、読書の幅を広げることにもつながられるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）		
	我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「歴史の窓」では「随筆文学」や「撰関期の文学」など当時の歴史や社会制度、人々の価値観などがどのような特徴をもっていたのかを知ることで、古典の世界に親しむ態度を育成することができる。 ・「古文を読むために」、「漢文を読むために」において、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することを通して、古典の世界に親しむことができる工夫がされている。
	人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むと、語彙力ドリルや参考資料等、理解を深めるための工夫が多くされている。
	ユニバーサルデザインの視点	ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む）に配慮している。

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）		第一
教科書番号		言文183-902
教科書名		高等学校 改訂版 標準 言語文化
(1) 内容		
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）		
	【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・教材は中学校国語科における学習の成果を踏まえて、高校生として望ましい国語の力を身に付け、日常生活における言語活動を活発化できる教材を選定している。 ・「言葉の手引き」や和歌の修辞に関する「古文を読むために」等を設けることで、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるよう工夫されている。
	【書くこと】	・折句を用いて短歌を作る、古典作品のリライトする活動を通して、言語活動を主体とした表現力や想像力を高め、自分の考えを広げて伝え合う力を育成する。
	【読むこと】	・脚注の「問」、「学習の手引」、「言語活動の手引き」三つの課題を設定することで、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、理解を深めることができる。 ・「羅生門」と「今昔物語集」や漢詩と訳詩の読み比べを通して、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができるよう工夫されている。
b 読書に関する事項		
		現代文では「作者解説」や「文学のしるべ」を設け、作家の歴史的な位置付けや小説の役割について思考を深めるとともに、読書の幅を広げることにもつなげられるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）		
	我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「古典のしるべ」では「平仮名の誕生」や「後宮の文学サロン」など当時の歴史や社会制度、人々の価値観などがどのような特徴をもっていたのかを知ることで、古典の世界に親しむとともに作品の理解を深めることができる。 ・「古文を読むために」、「漢文を読むために」において、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することを通して、古典の世界に親しむことができる工夫がされている。
	人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
	安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むと、語彙力ドリルや参考資料等、理解を深めるための工夫が多くされている。
	ユニバーサルデザインの視点	ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む）に配慮している。

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）	第一
教科書番号	言文713
教科書名	高等学校 言語文化
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・「言葉の手引き」や敬語に関する「古文を読むために」等を設けることで、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるよう工夫されている。
【書くこと】	・古典の和歌を現代語で書き換える活動や折句を用いて短歌を作る活動を通して、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる力を育成する。
【読むこと】	・脚注の「問」、「学習の手引」、「言語活動の手引き」三つの課題を設定することで、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、理解を深めることができる。
b 読書に関する事項	
	・「古典から受け継がれる話の由来を調べる」では、類似した作品の由来を調べる活動を設定し、読書の幅を広げることにもつなげられるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「古典のしるべ」では「平仮名の誕生」や「和歌の伝統と継承」など当時の歴史や社会制度、人々の価値観などがどのような特徴をもっていたのかを知ること、古典の世界に親しむとともに作品の理解を深めることができる。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む）に配慮している。

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）	第一
教科書番号	言文715
教科書名	高等学校 標準 言語文化
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・「言葉の手引き」や和歌の修辞に関する「古文を読むために」等を設けることで、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるよう工夫されている。
【書くこと】	・折句を用いて短歌を作る活動や「祭り」をテーマに随筆を書く活動を通して、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる力を育成する。
【読むこと】	・脚注の「問」、「学習の手引き」、「言葉の手引き」などの課題を設定することで、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、理解を深めることができる。
b 読書に関する事項	
	・「文学のしるべ」では、作者の他作品を掲載することで、読書の幅を広げることにもつなげられるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「古典のしるべ」では「平仮名の誕生」や「和歌の伝統と継承」など当時の歴史や社会制度、人々の価値観などがどのような特徴をもっていたのかを知ること、古典の世界に親しむとともに作品の理解を深めることができる。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	関東大震災に関する記載
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む）に配慮している。

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）	第一
教科書番号	言文716◆
教科書名	高等学校 新編 言語文化
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・現代文と古文では「言葉の手引きを設けることで、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増すとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができるよう工夫されている。
【書くこと】	・折句を用いて短歌を作る活動や「祭り」をテーマに随筆を書く活動を通して、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる力を育成する。
【読むこと】	・脚注の「問」、「学習の手引き」、「活動の手引き」の三つの課題を設定することで、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉え、理解を深めることができる。
b 読書に関する事項	
	・「読書のしるべ」では、作者の他作品を掲載することで、読書の幅を広げることにもつなげられるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「古典のしるべ」では「平仮名の誕生」や「『奥の細道』と和漢の文学」など当時の歴史や社会制度、人々の価値観などがどのような特徴をもっていたのかを知ること、古典の世界に親しむとともに作品の理解を深めることができる。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	安元の大火に関する記載
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むと文法を理解するための問題や教材資料等を視聴できる工夫がされている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし

教科名	国語
科目名	言語文化

発行者（略称）	桐原
教科書番号	言文212-901◆
教科書名	探求 言語文化 改訂版
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・古文編には「古典と文化・古文と古語」、漢文編には「漢文を学習すること」が置かれ、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることが理解できるよう工夫されている。 ・各教材の末尾「学習の手引き」には本文の中で言葉がどのように用いられているのかを考える「表現」が多数設定され、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することにつながる指導ができる。
【書くこと】	・歌枕を用いた恋歌の創作や作品のリライト活動など、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする力を育成することができる。
【読むこと】	・各教材の末尾の「学習の手引き」には内容を深め、主題に迫るための「読解」問題が設けられ、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える力が育成されるよう工夫されている。 ・古文と漢文の各教材の本文の前には、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるための手がかりとなる「本文スコープ」を設定され、作品ごとの着眼点を示す工夫がされている。
b 読書に関する事項	
	・「日本古典文学史年表」や「日本近代文学史年表」を設け、各作品の歴史的位置や同時代の作品を知ること、読書の幅を広げることにつながるよう工夫がされている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「古典世界ビュー」では古典の世界に親しむために、「夢」や「桜」が当時の人たちにどのように受け取られていたのかなど、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解できるよう工夫されている。 ・変体仮名、故事成語や中国の簡体字と関係などのコラムでは、一般的な教養を高めるとともに、専門的な知見が得られ、我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することにつながる。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	二次元コードを読み込むと教材やコラムに関連する内容の動画等を視聴できる工夫が多くされている。
ユニバーサルデザインの視点	ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む）に配慮している。